

春期海外研修特集 ～オーストラリア、デンマーク～

目次：

春期海外研修報告 P1
オーストラリア北欧福祉研修 P2
デンマーク

国際交流会を開催 P2

韓国からの交換留 P3
学生インタビューアメリカ提携校 P4
紹介留学生在籍状況 P4
学内スピーチコンテスト
のお知らせお知らせ P4
行事予定第12回児童学海外研修
フリンダース大学Flinders University Intensive English
Language Institute
(研修期間：2012年2月11日～3月11日)児童学科2年(留学時1年)
寺川 麻理乃 さん

1年生の秋に、オーストラリアの幼稚園や小学校に実際に行き、幼児教育を現地の先生から学ぶことができるプログラムがあると聞き、すぐにこの児童学海外研修に申込みました。日本以外の教育を学ぶということは、将来、小学校の教員を目指している私にはプラスになると思ったからです。現地の幼稚園や小学校での部分実習準備では、先生のサポートのもと、子どもたちに投げかける発問について話し合い、授業の練習をし、折り紙メダルを作ったりと一生懸命考えました。自分たちの考えた授業計画に子どもたちが楽しそうに取り組んでくれたことは本当に嬉しかったです。実習をする中

で、五感を使う活動を多く入れ、子どもたちが主体的に動ける、退屈しない授業を展開することは大切なことだと感じました。また、英語が流暢に話せなくとも、子どもたちに日本語を伝えたいという気持ちが大切だと思いました。チャイルドケアについての学び、課外活動、ホストファミリーと過ごした時間、素晴らしい自然、オーストラリアでの経験は貴重なものばかりでした。英語を上達させ、日本の文化についてさらに勉強し、いつか必ずオーストラリアの小学校で日本語を教えたいと思います。



フリンダース大学での授業の様子

オーストラリア／ディーキン大学

Deakin University English Language Institute

(研修期間：2012年2月7日～3月18日)

欧米文化学科3年(留学時2年)

鈴木 萌子 さん

今回の留学は、私にとって初めての海外経験でした。私が滞在したホストファミリーは、ホストマザーと7歳の男の子、5歳の女の子の3人家族で、ホストマザーは愛情深く、毎晩私と会話をする時間を設けてくれ、本当の母親のように感じました。ディーキン大学のクラスメイトは、中国、香港、オマーン、サウジアラビア出身の学生等、各国からの学生がいて、お互い英語でコミュニケーションするため、積極的に話すことを実践していくことができ、さらに彼らの文化も学ぶことができました。オーストラリアは移民の国とは聞いていましたが、様々な国の持つ特徴が一つの国で共存していることが感



クラスメートとメルボルンの街で

じられました。授業では、プレゼンの構成、リーディングのキーポイント、エッセイの書き方などが中心で、特にプレゼンは授業後に資料を集め、組み立て方をよく考えました。全て英語で発表するのはもちろん、トピックを理解していないと説明することができないので、かなりの準備と緊張が伴いました。今回の留学経験は、自分自身に自信とやる気を与えてくれました。そして、今まで学んできた英語が今まで以上に身近に感じられ、大好きになりました。

グレネルグビーチにて
(寺川さんは前列一番右)

ホストファミリーと

人間福祉学科北欧福祉研修 デンマーク

デンマーク／コペンハーゲン、オーデンセ

研修期間：2012年3月1日～3月8日

今年度の人間福祉学科主催・北欧福祉研修は、デンマークで行いました。デンマークは、国民の幸福度世界第一位、充実した福祉サービスで定評があります。デンマークの環境政策、子どもや高齢者が安心して暮らすことのできる環境作りがどのようになっているかを、幼稚園、小学校、介護付き住宅等を見学しながら実際に生活している人々や働いている人々と交流する機会を持ちました。参加者13名（大学院生1名、社会人2名含む）は、交流を楽しみながら現地で活躍する日本人の方々からもレクチャーを受け、デンマークでの学びを日本でどう生かせるかを考えたいと意欲をかきたてられた様子でした。

◆ AKU-エジェゴッドセンターの見学
発達障がい者の職場兼活動施設

◆ コペンハーゲンの風力発電見学
再生可能エネルギーの現場を視察

◆ ランデルスゲイド小中学校
児童の個性を生かした教育現場を視察



ランデルスゲイド小学校1年生クラスと

◆ コペンハーゲン観光
アマリエンボー宮殿、人魚像等

◆ オーデンセ観光
クヌード教会・アンデルセン博物館等

◆ カールブロックスゲード見学
高齢者活動センター、カフェテリア、訪問介護、看護事務所、ヘルプの必要な高齢者住宅とケア付き住居の見学

◆ オーフス市庁舎にて高齢者福祉に関するレクチャー

◆ Hoeskov Kollegiet
高次脳機能障がい者のグループホームを視察

◆ 森の幼稚園視察
身体と環境教育を促進する自然教育



森の幼稚園にて

◆ エグモント・ホイスコーレン訪問
学生の半数は障がいがあるが、ヘルパー学生の支援を受けながら生活を送る。18歳以上を対象にした半年間の全寮制フリースクールを視察。



エグモントホイスコーレンにて、日本人教師片岡豊先生のレクチャー

国際交流会が開催される

昨年度、盛会だった「国際交流会」を6月13日（水）アセンブリーアワーに開催しました。本学には、14の国と地域から234名の外国人留学生在籍しています。各国代表の留学生在が華やかな民族衣装を身に纏い、出身国の発表をしました。今年度は、留学生在が自由に設定した各国一つのテーマを発表しました。韓国のK-POPのギター演奏、中国の民族衣装や中国茶の紹介、台湾のグルメ紹介、ベトナムの揚げ春巻き試食、タイは、挨拶や実は長い首都名の紹介、ミャンマーの祭り紹



中国のチャイナドレスと中国茶の紹介

介、マレーシアの民族紹介、バングラデシュの結婚式、ネパールとスリランカの観光名所、イランのお菓子和果物紹介、アメリカの国紹介など様々なテーマにもとづいて発表があり、留学生の出身国を楽しく垣間見ることができました。今年度は、浴衣を着た日本人学生による日本のアニメ紹介もありました。手作りのお菓子や食事を試食したり、クイズ形式での紹介、歌の披露など、工夫が凝らされた発表に、聴衆が参加することができ、賑やかな交流会となりました。様々な文

化背景をもった留学生在が本学で勉学に励んでいることを実感すると同時に、留学生・学生・教職員との貴重な懇親の時となりました。



ベトナムの揚げ春巻きの試食



バングラデシュの結婚式の紹介では、実際に二人の結婚式の写真を見ました。



タイのグリーンカレーとレッドカレー

韓国人交換留学生インタビュー

ホソ
湖西大学から
欧米文化学科に1年間留学

イ ヘミン (Lee Haemin) さん

Q: 日本に留学することになったきっかけは？

A: 高校2年まで英語を勉強していましたが、次第に日本語に魅力を感じ始めました。湖西大学に入学する時、日本語専攻希望でしたが、両親からは世界で通じる英語にするように反対されました。両親と話合った結果、日本に留学することを条件に英語専攻にすることになりました。英語は「必要だから勉強する」、日本語は「好きだから勉強したい」言語です。今は、両親も私が日本に留学したことを喜んでいます。



Q: 聖学院での授業はどうでしたか？

A: 聖学院では、専攻の英語を勉強しつつ、日本語も勉強しました。聖学院の英語の授業は、会話や実践が多くて飽きませんでした。日本語の授業の中では、漢字の授業が勉強になりました。

Q: 日本語勉強法を教えてください。

A: 授業は、日本語でノートをとります。分からない所だけは韓国語で書いて、後で調べます。外国語を学ぶ共通の条件だと思いますが、文法や発音の間違いを気にしないでどんどん話すことがコツです！友達には、間違えていたら直してねと頼んでいました。ずっと間違え続けるのは嫌ですからね。

Q: 韓国と日本の違いはありましたか？

A: 日本の先生方は学生に対しても敬語を使うのに驚きました。韓国では、年齢が絶対ですから。それと、日本人はとても丁寧ですが、韓国人は物事をはっきり言うので、日本人の相手が何を思っているのか分かりづらい時がありました。今はもう大丈夫で、日本人は、恥ずかしがりやなので、私からどんどん声をかけて友達になりました。

Q: 韓国に帰国してからの目標は？

A: 韓国に帰ったら3年生です。また機会があればワーキングホリデーなどで日本に来て、学びながらアルバイトをする経験もしたいです。

Q: ホームステイはどうでしたか？

A: ホストマザーが色々な地域の行事、パーティー、温泉などに連れて行ってくれました。韓国のチマチョゴリは3回しか着たことがないのに、日本の着物は留学中に9回も着ました。2学期目からは、同じ聖学院大学にきたアメリカ人と韓国人の交換留学生もホームステイ先に加わり、にぎやかになりました。

日本の留学は私の夢だったので、希望が叶って今でも奇跡だと思っています。大学に入学する時に、両親と取引して良かったです。



ホストマザーの粕谷さんに着物を9回も着せていただきました。

ホソ
湖西大学から
日本文化学科に1学期間留学

キム カンウ (Kim Kangwoo) さん

Q: 日本に留学することになったきっかけは？

A: 中学生の頃、歌手の浜崎あゆみさんに好感を持ち、それから日本の言語、考え方、行動、映画、音楽といった日本文化全体に興味と親しみを感じ、文化を勉強することで日本語もうまくなると思い、日本文化学科に留学しました。



Q: 聖学院での授業はどうでしたか？

A: 日本語科目を受けながら日本文化に関する4科目を履修しました。「相関文化」では、歴史と人文学の面白さを知りました。「音声学」は、日本語を話すときの国ごとの発音のくせを教えてもらい、自分の

日本語の発音改善に役立ちました。「日本文化特殊講義」は難しかったですが、近代の日本の文化背景を通して日本の経済や歴史を学ぶことができました。授業で共通して難しかったのが、先生が黒板に書く板書です。書くのが早い上に、省略した漢字を読み取るのに苦労しました。

Q: 日本語勉強法を教えてください。

A: 外国語を学ぶ時のおすすめの勉強法は、学びたい言語の一番好きな文化で学ぶことです。私の場合は映画や音楽で、好きな事だから勉強とは思わないで楽しく勉強できます。今も日本語はまだまだですが、4ヶ月で上手になったのは日本が好きだからだと思います。

Q: 韓国と日本の違いはありましたか？

A: 日本人の連絡や約束の仕方が韓国の学生と違うと思いました。韓国では一度飲んだら友達になるけれど、日本は

迷惑かけない文化だから距離を置く分、近くなるのが難しく感じました。

Q: 韓国に帰国してからの目標は？

A: 韓国に帰国したら、湖西大学の4年生です。2月に卒業なので、卒業作品としてグラフィック、プログラミング、シナリオをグループで完成させます。

Q: ホームステイはどうでしたか？

A: ホームステイだと、毎日日本語が耳に入り、話すのでとても勉強になりました。いつかまた、日本に勉強のために戻りたいと思っています。



1日書道教室にて

アメリカ提携校 ～ラグレインジ大学 LaGrange College～

ラグレインジ大学は、ジョージア州ラグレインジ市にある提携校です。ラグレインジは、アメリカ南部最大の都市アトランタから車で1時間程の距離にあります。「学生と地域コミュニティの人生を変革する大学となる」という目標を掲げ、質の高い少人数教育が行われています。



キャンパスで最も古いSmith Hall

提携大学との交換留学は、学費が免除になり、単位が互換されるというメリットがあります。ラグレインジ大学と本学が提携を結んだのは2005年と日は浅いですが、アメリカの提携校の中でも最も交換交流が盛んな大学です。

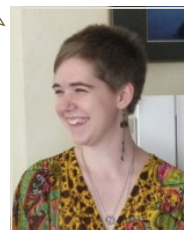
Quick Facts

- ◆ 創立：1831年
(ジョージア州で最も古い私立大学)
- ◆ 学生数：約1,000名
- ◆ 学生/教員数の割合：11：1
- ◆ 学期：クォーター（4-1-4）制
- ◆ 専攻：教育学、コンピューター学、外国語・文学・言語学、哲学、芸術・音楽・演劇、ビジネス等

- ◆ 理念：キリスト教メソジスト教会系
- ◆ 大学ホームページ：
<http://www.lagrange.edu>

ディアン ラフィーバー さん
(Deanne Lafever)

ラグレインジ大学から2012年度春学期に交換留学生として聖学院に留学しました。聖学院で日本語と日本文化を学びました。



外国人留学生国別在籍状況

	国籍名	合計
1	中国	183
2	韓国	21
3	ベトナム	6
4	台湾	5
5	ネパール	5
6	マレーシア	4
7	スリランカ	2
8	タイ	2

	国籍名	合計
9	ミャンマー	1
10	イラン	1
11	英国	1
12	ガボン	1
13	バングラデシュ	1
14	ベナン	1
	2012年9月1日現在	234

学内スピーチコンテストのお知らせ

- ◆ 11月17日（土）13:30～17:00

第8回英語スピーチコンテスト

〔高等学校在校生向け〕

テーマ 「こころざし-Challenge-」

スピーチ部門、暗唱部門あり

- ◆ 12月5日（水）11:00～12:30

第10回聖学院大学留学生日本語弁論大会

テーマ

「世界の中の日本-私のイメージ」

「私の異文化体験」「未来の私」

「私の主張」

- ◆ 12月12（水）11:00～12:30

第6回聖学院大学英語スピーチコンテスト

テーマ

“My Image of Japan in the World” “My Cross-Cultural Experience” “My Future” “My Beliefs”

お知らせ・イベント

- 9月 秋入学式・卒業式
秋の留学生ガイダンス
- 10月 夏期海外研修帰国報告会
春期海外研修募集開始
- 11月 春期海外研修締切・面接
第8回英語スピーチコンテスト（高校生向け）
提携校交換留学説明会
留学生ツアー
- 12月 第10回聖学院大学留学生日本語弁論大会
第6回聖学院大学英語スピーチコンテスト
- 1月 春期海外研修準備講座
- 2月 春期海外研修出発
- 3月 春期海外研修帰国
留学生ガイダンス
卒業式



SEIGAKUIN
UNIVERSITY

聖学院大学 国際交流課

〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1番1号

2号館1階

TEL 048(725)2801 FAX 048(781)0094

Email: kokusai@seigakuin-univ.ac.jp

窓口受付時間

月 9:00～16:00 火～土 9:00～11:30, 12:30～16:00